

The Yamaguchi Prefectural Museum of Art

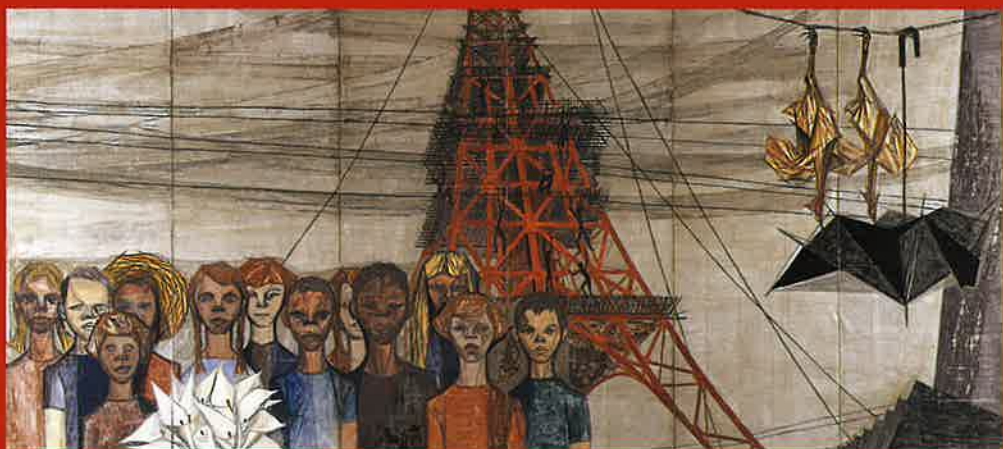
山口県立美術館ニューズ「天花」

090

contents

常設展  
第57回山口県美術展覧会  
年間スケジュール

天花  
TENGE  
天花



朝倉拱(1923-)「日本1958-2」1958年 山口県立美術館蔵

## 常設展

小林和作記念室

## 「戦後日本画の变革」

10/7 tue ~ 1/12 mon

## 表紙作品解説

朝倉摂(1923-)「日本1958-2」1958年  
紙本彩色 六曲一隻 167.6×369.0cm 山口県立美術館蔵

画面中央の赤い鉄塔。ご存じ、東京タワーです。この作品の題になっている1958年(昭和33年)、世界一を誇る鉄塔が高度成長の日本で建てられました。終戦から10年あまり。「もはや戦後ではない」といわれながら、戦後が生んだ混血児たちがエリザベス・サンダース・ホームという救済施設で育てられていました。画面手前に並ぶさまざまな色の髪と肌をもつ少年少女はこうした時代の一面を象徴しています。

この頃、新世代の日本画家たちは、墨、膠、紙など従来の画材を使う以外はテーマも手法も枠にとらわれない、新しい制作活動を行っていました。朝倉摂も当初この中心にいましたが、最終的には絵画表現自体に別れを告げるという答えを出します。1948年から日本の舞台美術の第一人者として現在も活躍中の朝倉は「時代のスピードに絵という表現がもう追いつかなくなった(『朝倉摂のステージ・ワーク 1991-2002』PARCO出版、2003年)」と感じていました。

1958年はまた、近代日本画の中心的存在だった横山大観が亡くなった年でもあります。日本画に变革が起きる一方で、日本を象徴する巨大なシンボルも富士山から東京タワーへ移行しつつあった時代、とみることもできるのではないのでしょうか。(当館学芸員 杉野 愛)

## 郷土工芸室

## 「萩の茶陶」10/7~2004/1/12

「一楽、二萩、三唐津」という言葉にも代表されるように、茶陶としての萩焼の評価は、江戸時代を通じて確立され、現在まで続いています。その中心は、茶碗であり、高麗茶碗写しをはじめ様々な作品がつけられる一方、水指、花入、茶入なども制作されてきました。このたびは、絵付など装飾的な技法をおさえ、土味を生かした侘び茶にかなう茶陶としての萩焼を紹介します。



三輪休雪(11代)「萩茶碗」1979年  
山口県立美術館蔵

## 香月泰男室

## 「シベリア・シリーズ II」10/7~2004/1/12

三隅町出身の香月泰男(1911~74)は、シベリア抑留を経験し、復員後その体験を「シベリア・シリーズ」として描きのこしました。当館常設展示では、香月の抑留体験の順を追ってシリーズを紹介しています。今回はシリーズ全57点の中から、終戦から捕囚までをモチーフにした作品を展示いたします。



香月泰男「避難民」1960年 山口県立美術館蔵

## 資料展示室

## 「濱谷浩」10/7~11/30

## 「小島一郎」12/2~2004/1/12

下北や津軽の風土をとらえた写真家として知られる小島一郎(1924-1964)。自らが生を受け、その心身をはぐんだ北国の自然を写しだしたその写真群は、自然の厳しさのみならず、その豊かさ、そしてその地に暮らす人々の力強さを浮かび上がらせています。このたびの展示では、1958-61年に撮影された「津軽」シリーズより当館所蔵の20点を紹介いたします。



伝雪舟等楊「東帯天神図」室町時代  
山口県立美術館蔵

## 第二常設展示室

## 「雪舟と雲谷派」10/28~11/30

室町時代、大内氏のもとに繁栄を誇った山口を活躍の場とした「画聖」雪舟。重要文化財三点を含む当館所蔵の雪舟画を展示し、あわせて、雪舟の画風を受け継いだ毛利藩の御用絵師、雲谷派の水墨画の名品を紹介いたします。(雪舟筆の重要文化財「山水図巻」は10/28-11/16に、「牧牛図」は11/18-11/30に展示します。)



小島一郎「津軽」1958-60年  
山口県立美術館蔵

# 平成15年 第7回やまぐち県民文化祭 第57回山口県美術展覧会

平成15年10月2日(木)～10月19日(日)

休館日/10月6日・10月14日

開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料/一般250円(200円) 学生200円(150円)

※( )内は20名以上の団体料金

※18歳以下・70歳以上の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在籍される方等は無料

主催/山口県・山口県教育委員会

## 趣旨

### 「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高める(つくる)と同時に、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

## 1 「つくる」 (公募部門)

自由な意識や現代社会に根ざした作品を募集し、その優秀なものを展示します。

## 2 「みる」 (ワークショップ部門)

鑑賞行為の創造性を体験してもらうためのワークショップを開催します。

## 3 「ささえる」 (ボランティア部門)

広く県民から募集した美術館ボランティア・スタッフに県美展の運営に参画してもらい、芸術支援の活動を展開してもらいます。

# つくる

## 公募部門

審査会  
審査員

平成15年9月23日・24日

榎木野衣(美術評論家・多摩美術大学助教授)

元永定正(美術作家・成安造形大学教授)

山下裕二(美術史家・明治学院大学教授)

出品点数

452点

入選点数

67点

## 大賞 「ワタシのかぞく」

稲村あすか・潔・風和子・滝(防府市)

## 優秀賞

「PARK」

岡本義朗(宇部市)

「ゼロ」

柏良治(周南市)

「港かいわい」

神田敬司(熊毛郡大和町)

「温身"The Boundary of a Contradiction"」

龍石菊乃(下関市)

「オブジェ「遠さ」の四つの形」

山根秀信(山口市)

## シンポジウム

平成15年10月5日(日) 14:00～16:00

山口県立美術館講座室

## パネリスト(予定)

濱本聡(県美展運営委員 下関市立美術館学芸主査)

原田文明(県美展運営委員 美術作家) 他

コーディネーター:河野通孝(県美展事務局・県立美術館学芸課主任)

# みる

## ワークショップ部門

### 「よく分かる県美展ツアー」

荒瀬景敏(県美展運営委員)+ゲストと一緒に展示会場をまわります。

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 10月4日(土) 14:00~  | 10月5日(日) 11:00~  |
| 10月11日(土) 14:00~ | 10月12日(日) 14:00~ |
| 10月18日(土) 11:00~ | 10月19日(日) 14:00~ |

※参加ご希望のかたは、展覧会チケットをお持ちになり、会場入口付近にお集まり下さい。

# ささえる

## ボランティア部門

### 「県美展の楽しさ発見!」

美術館ボランティアと一緒に県美展の作品をじっくりと鑑賞し、作品の魅力を発見しましょう。

#### ■こどものためのギャラリートーク(小学生・中学生対象)

10月4日(土) 11:00~11:30

10月11日(土) 11:00~11:30

#### ■大人のためのギャラリートーク

10月18日(土) 11:00~11:30

※参加ご希望のかたは、展覧会チケットをお持ちになり、会場入口にお集まり下さい。

#### 運営委員

荒瀬景敏(美術作家) 今井徹也(建築家) 岩野雅子(山口県立大学国際文化学部助教授)  
 小南英昭(山口県立大学生活科学部講師) 濱本聰(下関市立美術館学芸主査) 原田文明(美術作家)  
 堀家敬嗣(山口大学教育学部講師) 三輪和彦(美術作家) 森川絃一郎(周南市美術博物館長)  
 横山眞佐子(児童書専門店(株)子供の広場代表取締役) 岡屋武紀(山口県教育委員会文化財保護課長)  
 大村慎一(山口県環境生活部文化振興課長)

## 平成15年度 第7回やまぐち県民文化祭 第57回山口県美術展覧会

### 2003.10.2(thu) ▶ 10.19(sun)

山口県立美術館 〒753-0089 山口市龜山町3-1  
TEL:083-925-7788

開館時間/9:00-17:00(入館は16:30まで)  
 休館日/月曜日(ただし、10月13日開館、14日休館)  
 入館料/一般250(200)円 学生200(150)円  
 ( )内は20名以上の団体料金  
 70歳以上、18歳以下、高等学校、盲・聾・養護学校在学生のかた等は無料  
 主催/山口県・山口県教育委員会



ポスター原画/山本恵美子

# 2003-2004

特別展

|    |   |
|----|---|
| 4  | 4/15~5/25<br>コレクション101  |
| 5  |   |
| 6  | 6/13~7/6<br>日本伝統工芸展50年記念展<br>「わざの美」                                   |
| 7  |   |
| 8  | 7/18~9/7<br>神話が立っく自然の国<br>フィリピンの美術                                    |
| 9  |   |
| 10 | 10/2~10/19<br>第7回やまぐち県民文化祭<br>第57回山口県美術展覧会                            |
| 11 | 11/11~11/30 山口朝日放送開局10周年記念<br>生誕250年<br>旅する女流文人 田上菊舎                  |
| 12 | 12/9~12/14 第56回学校美術展覧会  |
| 1  | 12/19~2/1<br>日本近代洋画への道<br>—高橋由一から蘆島武二まで—                              |
| 2  | 2/5~2/8 山口県立大学卒業制作展<br>2/12~2/15 山口大学卒業制作展<br>2/19~2/22 山口芸術短期大学卒業制作展 |
| 3  |   |

## schedule

山口県立美術館 平成15年度年間スケジュール

| 常設展                                  |  |
|--------------------------------------|--|
| 4/1<br>(工芸<br>コレクション101)<br>シベリアシリーズ | 西野新川 4/20<br>4/22 福田翠光・制作の秘密 5/5<br>5/7 学芸員のイチオシ 5/25<br>6/8<br>6/10 福田勝治<br>山口の<br>伝統工芸 |
| 7/6                                  |  |
| 7/8~7/17                             | 全館休館   |
| 7/18~9/7                             | 全館休館   |
|                                      | ムーミンの世界展<br>—マン・ジツゴムからの物語—   |
| 9/9~9/12                             | 全館休館   |
| 9/13<br>古萩展<br>シベリア・シリーズI            | 永地秀太の世界 木村伊兵衛  |
| 10/5<br>10/7                         |  |
| 萩の茶陶<br>シベリア・シリーズII                  | 戦後日本画の変革<br>10/28 濱谷浩<br>雪舟と雲谷派<br>11/30 11/30<br>12/2<br>小島一郎                           |
| 1/12                                 |  |
| 1/14                                 |  |
|                                      | 桂ゆきの世界 石元泰博  |
| 前衛陶芸<br>現代の木彫                        | 2/15   |
|                                      | 2/17<br>松林桂月の<br>世界 奈良原一高  |

## Information

### ■休館日

月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
年末年始(12月28日~1月3日)  
7月8日~7月17日、9月9日~9月12日

### ■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

### ■料金

常設展: 一般190(160)円 学生120(100)円  
( )内は20名以上の団体料金

特別展: 別途に定めた料金

常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、

官・壘・養護学校に在学する方等は無料。

教育文化週間11月1日~11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館  
The Yamaguchi Prefectural  
Museum of Art

〒753-0089

山口市龜山町3-1

TEL: 083-925-7788

FAX: 083-925-7790

http://www.pref.yamaguchi.jp/kenbi/index.htm



山口県立美術館100周年記念展50年 生涯の伴「100日展」

発行 山口県立美術館 印刷 大村印刷株式会社